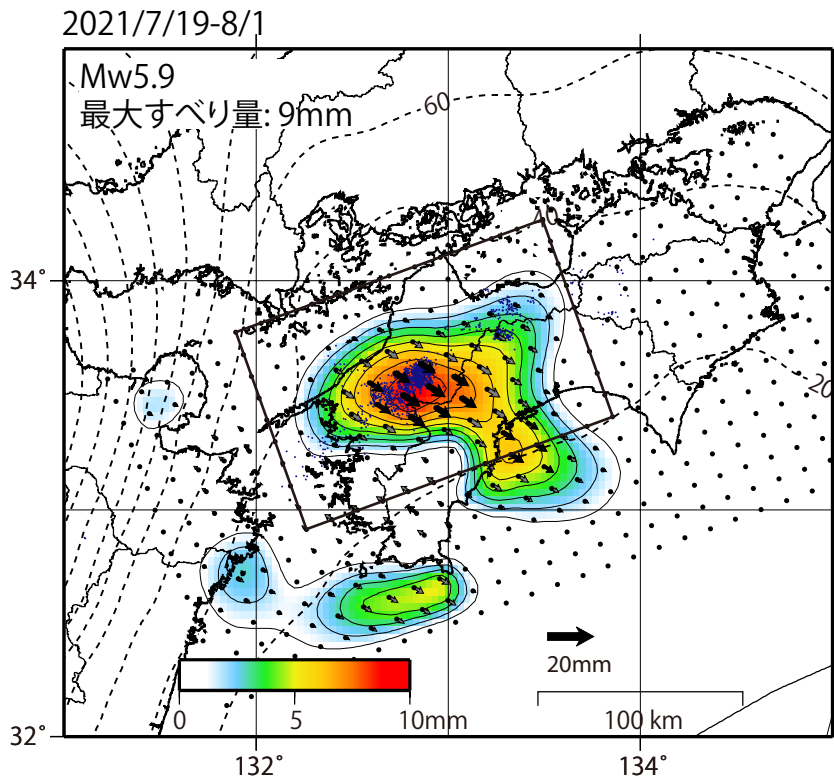


GNSSデータから推定された
四国西部の深部低周波微動と同期したスロースリップ(暫定)

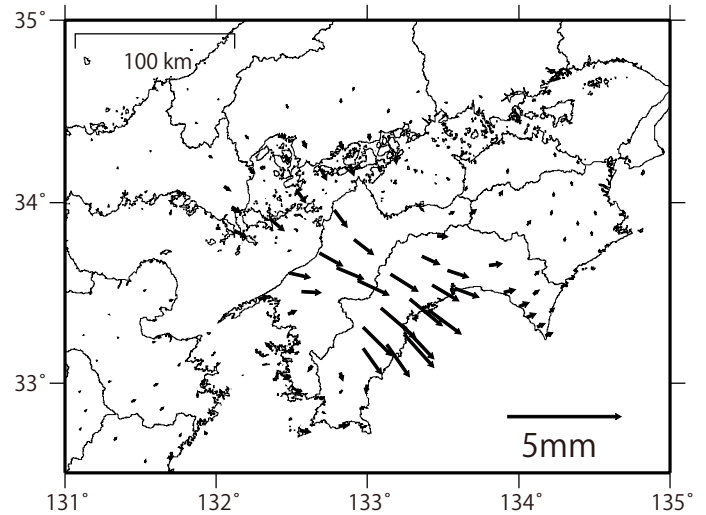
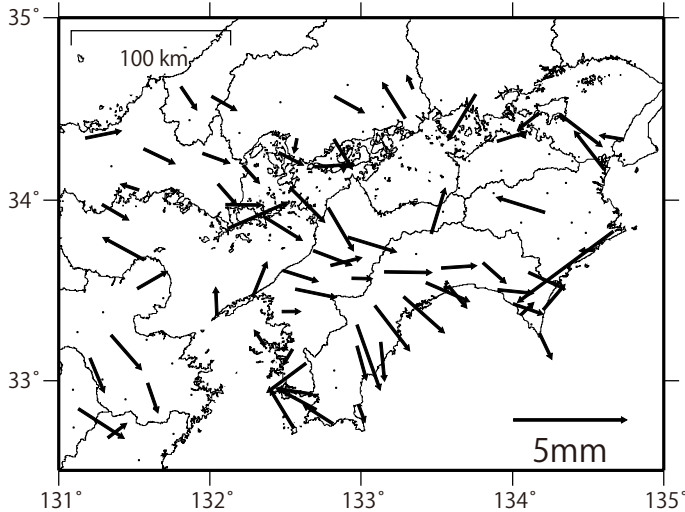


Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

観測

計算

基準期間: 2021/06/10~2021/07/19 [F5: 最終解]
比較期間: 2021/08/01~2021/08/28 [F5: 最終解]



解析に使用した全観測点の座標時系列から、共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。
また、基準期間と比較期間の間のオフセットをRamp関数で推定し、東西、南北のAICを合わせたAICで有意でない観測点は除外している。

解析に使用した観測点の範囲: 概ね北緯32~34.6°、東経131~134.8°
使用データ: F5解(2021/6/10 - 2021/8/28) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み
トレンド期間: 2017/1/1 - 2018/1/1 (年周・半年周は 2017/1/1-2021/8/28 のデータで補正)
モーメント計算範囲: 上段の図の黒枠内側
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他, 2007)
すべり方向: プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束
青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)
コンター間隔: 1mm
固定局: 三隅